

津山市地域公共交通の活性化及び再生に関する協議会（第7回）会議録(要旨)

平成 23 年 1 月 21 日 10:30～11:20

津山文化センター3 階 大会議室

1 開会（事務局）

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1)第 6 回協議会

（事務局） 議事録に基づき、前回協議会について報告。

報告事項として、前回協議会、計画策定事業の事後評価結果、補助事業経過について報告し承認をいただいた。

続いて協議事項に入り、平成 21 年度の事業報告、次に決算報告及び監査報告を行い承認いただいた。そして平成 22 年度の事業計画、暫定予算について提案し承認いただいた。

(2)補助事業経過

（事務局） 当市の予算については前回説明のとおり予算化されたが、国の「地域公共交通総合連携計画」を含む「地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金」については、予定の 11,419 千円を下回る 4,500 千円の交付決定となった。これは事業仕分けでこの事業が H22 年度で廃止となったこと、また、全国で想定を上回る事業申請があった影響と思われる。

なお、本年度また来年度以降の事業推進に対する影響については協議事項の補正予算のところでも説明する。

(3)事業進捗状況

（事務局） 「地域公共交通活性化・再生総合事業」として本年度予定している事業の地域毎の状況。協議事項の補正予算と関連するが、事業の一部見直しを含め報告。

資料 2 は計画書のスケジュール表を若干見直したもので、灰色が当初の予定、赤色が見直した部分である。

阿波地域については阿波バスの民間並み運行・スクールバス車両の活用について地元町内会・PTA 関係者また教育委員会とも連携をとりながら調整を進めてきたが、この方向で一定の整理が出来たので、本年度早い時期での実施を目指し運行業者の選定を進め、運行経費を見直して引続きあばグリーン公社運行することとした。福祉バスを廃止しての過疎地有償運送については、阿波バスの問題が地元にとっては重い課題であったため、阿波バスの整理ができて後の実質的には H23 年度の協議としている。

加茂地域については、黒木線の見直しは 4 月より既に一部デマンド運行へ変更ということで、下津川線のごんごバスと重複する便の減便は 6 月から実施している。ごんごバスの折返し運行による現行の 1 日 2 便から 3 便への増便については、10 月 1 日より実施。10/1～10/11 に無料の試乗期間を設けたため大きな混乱もなく移行できた。利用は今のところ横ばいであるが、旧市内区間の利用者が東循環線へ移ったことを考えると、その分新規利用者が増えていると言えるかと思う。福祉バスの有料化については、変更が 2 段階となり主な利用者である高齢者の方を必要以上に混乱させる虞があることから、阿波の過疎地有償・後で説明する久米の乗合デマンドの実施時期と合わせて実施の予定である。

勝北地域については、ごんごバスの折返し運行による増便と奥津川への延伸について 10 月 1 日より実施している。利用については本年度は 5 月～11 月にかけて下水道工事を実施し迂回運行をしていた影響で若干落ち込んでいる。(7 4.5)工事は完了したが、実際の効果が出てくるのはこれからと考えている。福祉バスの有料化については加茂地域と同様である。

久米地域については、ごんごバス・福祉バスの見直しへの対応策としてデマンド乗合方式の検討を(協議会分科会久米分会また)事業者と進めている。これはごんごバスの路線変更とも関連し、また、結節点となる停留所を確保する必要があるため他地域に比べ時間がかかっている。

旧町村部の福祉バスの有料化、阿波・久米については別手法の検討ということで取組んでおり、当初本年度有料化を実施し、その後阿波・久米でのデマンド運行実施と 2 段階の実施を予定していたが、多くの利用者は高齢者ということで短期間で 2 度の制度変更は好ましくないこと、また、

均衡をとるために全市一斉に実施する必要があることから、阿波・久米、特に久米の実施予定が固まった段階で実施したいと考えている。

旧津山地域については、循環ごんごの路線見直し(イオン津山乗入・これまでの支所間ごんごでカバーしていた野介代・勝部・志戸部のカバー、高杉団地への乗入等)について10月1日より実施している。利用については、乗継による増加また対象地域が広がったことから30%程度伸びている。今回の取組のひとつとして地元の協力を得ての新規乗入という事業があるが、関係町内の協力を得て堅調に回数券を購入していただいている。

周辺部デマンド乗合方式の導入の検討については、タクシー協会の協力をいただきながら佐良山地域での試行の検討を進めている。

小循環バスの運行を来年度予定していることから、結節点となるアルネ前バス停整備を年度内に実施し、次年度早い時期の運行を予定していたが、国の補助事業が事業仕分けの影響で制度変更があったため、次年度早い時期での運行は困難となり、バス停を半年程度遊ばせる虞があるため、計画を見直して、11月に再出店したイズミ前バス停整備を当初予定のH23年度から前倒して代えて実施させていただきたいと思う。

その他、連携計画は基本計画として整理したことから事業推進のため実施計画を策定した。先程確認していただいた冊子ですが、実施スケジュール・事業費概算・ルート概要・モデルダイヤ等で構成している。内容の詳細については後程ご確認いただければと思う。早速来年度の予算要求等で活用している。

(会 長) 報告事項について質問、意見等はないか。 なし 承認

4 協議事項

(1)補正予算

(事務局) 補正予算書をご覧ください。

歳入ですが、先程申し上げましたように国からの補助金に変更があったため、3 補助金について6,919千円の減額で補正後の予算額が4,500円、計が7,706千円。歳出ですが、補助金の減額に伴い事業費を調整し、6,919千円の減額で補正後の予算額が5,300千円、計が同じく7,706千円。事業については、実施計画が協議会直営、他の事業については市の補助事業として実施し協議会から負担金として支出する構成としている。事業の当初予定から申し上げますと、アルネ前バス停整備をイズミ前バス停整備に変更して実施、循環ごんご・加茂ごんご・勝北ごんごの路線変更・実証運行、実施計画策定については予定どおり実施で、阿波地域の過疎地有償運送、久米地域のデマンド方式について次年度以降の実施とすることで調整します。

(会 長) 補正予算について質問、意見等はないか。

(委 員) もう少し詳細を教えてください。

(事務局) 活性化再生総合事業については、国の事業仕分けの影響を受け、本年度で廃止となるが、新たに維持確保事業として国が取り組むこととなっている。この事業については、今まで以上に手厚いものとなっているのでなんとか取り組んでいけるのではないかと思っている。しかし現時点では詳細がはっきりと決まっている訳ではない。

(委 員) 名称は変わるが引き続きやるということか。

(事務局) そのとおりである。

(委 員) 本年度の補助については申し訳ないこととなっているが、来年度は新しい事業で支援ができるように予算付けされている。バスのほか7事業で本年度の1.42倍、総額304億円が概算で示されている。内訳までは決まっていないが、2月3日に広島市で説明会が予定されている。

途中で予算が無いというようなことがないように本省に要求し、その感触も得ている。

(会 長) ほかに意見等ないか。

(委 員) アルネ前停留所整備からイズミ前停留所整備に本年度事業が変更になったということであったが、アルネの停留所はどうなるのか。

(事務局) アルネ前停留所整備と関係する小循環線について、平成23年度の予定としているが、制度変更の関係で年度早々の着手は難しいため、アルネ前停留所を整備しても運行まで半年程度の間バスが利用しないということにもなるために本年度はイズミ前停留所の整備とさせていただいた。アルネ前停留所は平成23年度に小循環線の運行に合わせて整備する。

(会 長) ほかに意見等はないか。 なし 承認

(2)第一次事業評価(自己評価)

(事務局) 「計画事業に係る事後評価記載様式」をご覧ください。「地域公共交通活性化・再生総合事業」については、制度的に事後評価を実施し、さらにその適正な執行を図るため実施要領に基づき第三者による事後評価を実施することとされています。資料は協議会の事業実施状況を踏まえて事務局において作成した第一次評価・自己評価(案)です。

一項目毎に事務局案を読み上げますので、ご意見をいただければと思います。

まず、1の総合評価です。

(会長) 1について、意見等はないか。 なし

(事務局) 次に、2の計画事業の実施です。

(会長) 2について、意見等はないか。 なし

(事務局) 次に、3の具体的成果です。

(会長) 3について、意見等はないか。 なし

(事務局) 次に、4の自立性・持続性です。

(会長) 4について、意見等はないか。 なし

(事務局) 最後に、5の住民参加等による地域関係者の実質的な合意形成です。

(会長) 5について、意見等はないか。

(委員) 5の大きな変更は別としてというのはおかしい。協議会の了解を得る必要があるのではないか。

(事務局) 意味合いは指摘のとおりであり誤解のない表現に修正をする。

(会長) 全体を通して質問、意見等はないか。 なし 承認

(事務局) この内容をもって2月の評価を受けたいと思う。

5 その他

(会長) その他に意見はないか。 なし。

7 閉会(会長)